

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大隅西小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の自己評価の総括について、1年間の取組内容や年度目標の達成状況の結果と分析、次年度への改善点について説明し、理解を得た。

校内アンケートのあいさつに関する結果と地域でのあいさつについては差があるように感じる。自分からあいさつができる子が増えていてもらいたいという意見があった。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。
(R7; 80.5% ×)
- ② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
(R6; 2.46% R7; 1.8% ○)
- ③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
(R6; 該当なし R7; 50% ×)

学校の年度目標

- ① 小学校学力経年調査および校内アンケートにおける「学校へ行くのは楽しいと思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
(R7; 82.7% ○)
- ② 小学校学力経年調査および校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
(R7; 87.1% ×)

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
(R7; 31.6% ×)
- ② 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。
(R7 ×)
- ③ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。
(R7; 67.9% ×)

- ④ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

(R7; 71.2% ×)

- ⑤ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。

(R7; 71.8% ×)

学校の年度目標

- ① 小学校学力経年調査における国語および算数の正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント減少させる。

(R7 ×)

- ② 小学校学力経年調査における国・算の正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も0.5ポイント増加させる。

(R7 ×)

- ③ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を85%以上にする。

(R7; 85.6% O)

年度目標：学びを支える教育環境の充実

全市共通目標(小・中学校)

- ① ICTの活用に関する目標を設定する。(R7 O)

- ② デジタル教材を活用した学習を週1回実施する。(R7 O)

- ③ 学習者用端末を活用した家庭学習を年に1回程度実施する。(R7 O)

- ④ 協働学習支援ツールを用いた学習を学期に1回程度実施する。(R7 O)

- ⑤ 教職員の働き方改革に関する目標を設定する。(R7 O)

- ⑥ 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を20%以上にする。(R7 O)

- ⑦ ゆとりの日を週に1回設定・実施する。(R7 O)

- ⑧ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を20%以上にする。(R7 O)

- ⑨ 児童の8割以上が、学習者端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えるようにする。

学校の年度目標

- ① ICTを活用した授業を週に3回以上行う。(R7 O)

- ② 始業式、終業式の実施日の弾力的運用を行う。(R7 O)

3 今後の学校園の運営についての意見

年間行事予定をもとに次年度の学校運営について意見をいただいた。授業時数の削減については他校と比較してカットが多いと感じたということについて、年間時数を計算し確保できていると説明を行った。

3年生が地域のパン屋さんと協同で行った「パンプロジェクト」の取組がとても良い。子どもたちにとってとても良い経験だったと思うという意見をいただいた。

学校としての取り組みを引き続き進めていくとともに、アンケート結果について、全体の児童数が少ないと、少しの人数の回答によってパーセンテージが大きく変わってしまう。数値の上がり下がりについては、一喜一憂しなくて良いのではとの意見をいただいた。